

平成26年度

岡山大学大学院法務研究科

法学未修者後期入試

小論文問題

- ・ 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 問題冊子は、この表紙を含めて合計10枚あります。
- ・ 解答は解答用紙に横書きで記入してください。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題 [文章]を読んで、下記の2つの設問に解答しなさい。

設問1

反応閾値モデルについて、400字以内で説明しなさい。

設問2

著者も指摘しているように、ハチやアリと人とは知能的判断能力に大きな違いがある。他方、ハチやアリの行動を人にたとえて説明している箇所もあるように、共通点も見いだされる。著者が[文章]で示しているムシの社会に関する研究は、人間社会のあり方に何か示唆を与えるだろうか。

1200字以内で、自由に論じなさい。

[文章]

長谷川英祐『働かないアリに意義がある』

(2010年 メディアファクトリー新書)

*なお、出題の都合上、文章の一部を省略・加工している。

【出題意図】

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する自己の見解を論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることが、出題の意図である。